

男女共同参画に関する県民意識調査
報 告 書

令和 6 年 度
石 川 県

目 次

§ 1 調査の概要	
この報告書のみかた	5
1 調査の目的	7
2 調査の項目	7
3 調査の設計	7
4 標本構成	7
5 回収結果	8
6 回答者の属性	9
§ 2 調査結果の要約	
I 男女の地位の平等	13
II 家庭生活等	13
III 職業	15
IV 女性の社会参画	17
V ドメスティック・バイオレンス(DV)等	18
VI 男女共同参画社会の実現について	22
§ 3 調査結果の詳細	
I 男女の地位の平等	25
1 男女平等についての現在の状況	25
II 家庭生活等	37
1 「男は仕事、女は家庭」という考え方	37
2 「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成する理由	40
3 「男は仕事、女は家庭」という考え方に反対する理由	41
4 男性が家事・育児を行うことのイメージ	42
5 男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加するため必要なこと	44
6 親の介護における役割分担	46

III 職業	50
1 職場での男女平等について	50
2 女性が管理職に昇進することについて	52
3 管理職・議員等への就任・立候補を打診された場合の意欲.....	53
4 打診を断る理由	56
5 女性のリーダーを増やす上での障害	62
6 女性が働き続ける上での障害	64
7 女性の再就職に必要なこと	66
8 男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要なこと.....	68
IV 女性の社会参画	70
1 女性のリーダーが増えるとどのような影響があると思うか	70
2 女性が方針決定の場に参画するために必要なこと	72
3 性別に配慮した防災・災害対応・復興対策のために必要なこと.....	74
V ドメスティック・バイオレンス(DV)等	76
1 配偶者や交際相手などからの暴力と認識される行為	76
2 配偶者からの被害経験の有無	78
3 配偶者からの暴力についての相談経験の有無・相談先.....	86
4 配偶者からの暴力について相談しなかった理由	91
5 交際相手からの被害経験の有無	92
6 交際相手からの暴力についての相談経験の有無・相談先.....	102
7 交際相手からの暴力について相談しなかった理由	106
8 性暴力被害に関するイメージ	107
9 相談機関・関係者の周知状況	109
10 DVや性暴力等の暴力を防止するために必要なこと	111
VI 男女共同参画社会の実現について	113
1 用語の周知度	113
2 性別による無意識の思い込み	116
3 男女共同参画社会の実現のために行政に対して望むこと	120
§ 4 調査票及び単純集計結果	121